

名言・格言

心、常に、道を離れず

宮本武蔵

江戸時代初期の剣術家、兵法家、二刀を用いる二天一流兵法の祖。

生： 1584 年頃

没： 1645 年 6 月 13 日（享年 61）

【その生涯】

武蔵の生まれた年は 1584 年（天正 12 年）頃と考えられている。

出生地には吉川英治の小説『宮本武蔵』で採用された美作国（岡山県）説や播磨国（兵庫県）説がある。武蔵の『五輪書』によると、13 歳で初めて新當流の有馬喜兵衛と決闘して勝利し、16 歳では但馬国の秋山という強力の兵法者に勝利したという。以来 29 歳までに 60 回ほどの勝負を行い、すべてに勝利。

武蔵の勝負の中で特に有名なものは「巖流島の決闘」であり、小倉藩領の舟島で岩流なる兵法者と戦ったとされる。

大坂の陣（1614～1615 年）では水野勝成の客将として徳川方に参陣し、勝成の嫡子・勝重付で活躍したことが資料から裏付けられている。

1638 年の島原の乱では、小倉城主に従い養子の伊織と出陣、一揆軍の投石によって負傷したとの記録がある。

1640 年、熊本城主の細川忠利に客分として招かれ熊本に移る。熊本城東部に隣接する千葉城に屋敷が与えられ、鷹狩りが許されるなど破格の待遇で迎えらる。

1643 年に『五輪書』の執筆を始め、1645 年、亡くなる直前に『五輪書』および『独行道』を兵法の弟子に与えた。

1645 年 6 月 13 日、千葉城の屋敷でその生涯を閉じる。

